新型コロナウイルスワクチン接種についての情報提供

人類に対して初めて使用される遺伝子ワクチンは、まだ治験の途中で緊急使用されているため、効果や安全性の情報が不足しています。接種は強制ではありません。本人が希望する場合のみ接種が行われます。薬品の投与には必ずリスクが伴います。効果とリスクの双方を理解した上で、自らの意思で判断する必要があります。当院では患者様の健康を考え、最新の情報をご提供させて頂きます。判断材料としてご利用頂けると幸いです。

＜効果＞

・重症化予防を期待（治験中のため効果は不明）

※あくまで重症化予防であり感染の予防効果は期待できない（厚労省発表）

※日本は接種率世界第３位で陽性者数世界第１位！

※２回以上接種者の方が非接種者より感染率が高い（厚労省発表）

※イスラエルでは３・４回目の接種で日本と同様に感染者、死者が急増。国はﾜｸﾁﾝﾊﾟｽﾎﾟｰﾄを廃止し接種の危険性を勧告したため現在は誰も接種していない。

※政府は接種証明書を発行しているが、国内での運用は感染抑止効果が確認出来ないため中止。予防接種法では非接種者への差別は許されないとの付帯決議が成されている。

＜リスク＞

◎日本における副作用の疑い事例（R.3.2/17～R.4.8/5 厚労省発表）

・死亡報告　１７９６件　→　１８３５件に増加！！（R.4 .9/3）

※平成３０年のインフルエンザワクチン接種後の死亡報告数３件

・重篤な副反応　２３８７９件！！（R.4 .9/3）

心筋炎、脳血管障害、失明、ギランバレー症候群など

・２回以上の接種後９０％以上に発熱、頭痛、強い倦怠感、関節痛など（これらの症状は報告義務がないため副作用件数に含まれていない）

◎アメリカの状況（2022.9.9 時点　CDC 等発表）　副作用報告数 1407409 人

・死亡　30935 人　・入院　177050 人　・緊急ケア　135259 人　・心筋炎　52220 人

＜考察＞

先月からオミクロン用の接種が開始されたが、あれは BA１株と武漢株の二価ワクチンで、現在どちらの株も流行していない。BA５に対する抗体価はほぼ上がっていないというデータが公表されている。アメリカでは既に BA５用が開発されており、効果がないので使わなかった BA１用を日本が大量に購入した。在庫処分である。しかも BA1 用は 56 歳以上のたった 200 人にしか治験を行っていない。にも関わらず日本では 12 歳から接種する。世界では高齢者以外接種を推奨されていない。政府は１日 100 万人に接種するなどと言い、日本での人体実験を進めている。子供を実験台として差し出す親の気持ちが理解出来ない。有害無益。正気に戻り、よく考えて行動してほしいと切に願う。